令和８年（2026 年）２月 25 日

保護者の皆様

札幌市立陵陽中学校
校長　石井　貴司

令和７年度　全国学力･学習状況調査の結果について

深秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

さて、今年度は、４月 17 日に３学年を対象に全国学力･学習状況調査が行われました。本校の概要と課題、改善の方向について全国平均と比較した結果をお知らせいたします。今回の調査結果や学校評価を基に、引き続き改善・発展させてまいります。今後とも、ご理解とご協力をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

国　　語

記号のみかた　△：上回っている　◇やや上回っている　○同じ　◆やや下回っている　▼下回っている

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【知識及び技能】 **「言葉の特徴や使い方に関する事項」** △全国平均を上回っている	➢事象や行為を表す語彙について理解しているか	➢文章中で使われている事象や行為を表す語彙について意味を調べて理解したり、その語彙を使用して文や文章を書いたりする学習活動の充実
【思考力・判断力・表現力等】 **「話すこと・聞くこと」** **◇ほぼ同程度であるが、やや上回る**	➢資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができるか	➢話し言葉の特徴や、視覚に訴えることの効果などを踏まえ、どのような資料や機器をどのように用いれば自分の考えや伝えたい内容が分かりやすく相手に伝わるかについて検討し、実践する活動の充実
「書くこと」 ◇ほぼ同程度であるが、やや上回る	➢書く内容の中心が明確になるように、内容のまとまりを意識して文章の構成や展開を考えることができるか ➢自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるか	➢自分の立場及び伝えたい事実や事柄、意見を明確にし、相手に効果的に伝わるように構成・描写・表現を工夫したり、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたりする学習活動の充実
「読むこと」 △全国平均を上回っている	➢読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えることができるか	➢読み手の立場に立って、書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係などに注意して、読みやすくわかりやい文書になっているかという視点から文章を推敲する学習活動の充実

※令和７年度 全国学力・学習状況調査の詳細につきましては、次のＨＰをご参照ください。
〔国立教育政策研究所ＨＰ〕https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html

※札幌市における「令和７年度 全国学力・学習状況調査 実施報告書」につきましては、札幌市ＨＰをご参照ください。〔札幌市ＨＰ〕https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/gakute/gakute_hp.html

数　　学

記号のみかた　△：上回っている　◇やや上回っている　○同じ　◆やや下回っている　▼下回っている

本校の概要

【領域】

「数と式」

◆ほぼ同程度であるが、やや下回る

「図形」

◆ほぼ同程度であるが、やや下回る

「関数」

◇ほぼ同程度であるが、やや上回る

「データの活用」

◆ほぼ同程度であるが、やや下回る

今回の調査における課題

➢素数の意味を理解し、数量を文字で表現できるかどうか

➢反例を挙げて事柄の成り立ちを説明し、式を変形してその意味を解釈できるかどうか

➢多角形の外角の意味を理解し、証明を基に新たな辺や角の関係を見いだすことができるか

➢条件を変えた場合に証明を改善し、構想に基づいて事柄が成り立つことを証明できるか

➢相対度数や確実な事象の確率を理解しているか

➢事象の起こりやすさを数学的に説明できるか

改善の方向

➢具体的な事柄を一般化する過程で、文字を使って説明する活動の充実

➢文字式をしっかり読み取り、その意味を説明する活動の充実

➢図形の証明について、三角形や四角形の基本的な性質などを活用する活動の充実

➢図形の性質について、その根拠を明らかにして説明する活動の充実

➢身近な事柄から事象起こりやすさを考察し、数学的に説明する活動の充実

理　　科

今回の調査における課題

➢電熱線で水を温める学習場面において、回路の電流・電圧と抵抗や熱量に関する知識及び技能が身に付いているかどうかをみる

➢露頭のどの位置から水が染み出るかを観察する場面において、小学校で学習した知識を基に、地層に関する知識及び技能を関連付けて、地層を構成する粒の大きさとすき間の大きさに着目して分析して解釈できるかどうかをみる

➢小腸の柔毛、肺の肺胞、根毛に共通する構造について学習する場面において、共通性と多様性の見方を働かせながら比較し、多面的、総合的に分析して解釈することができるかどうかをみる

改善の方向

➢発熱量は電流、電圧、電気抵抗、電流を流した時間など、複数の要因が関係していることを理解する学習活動の充実

➢地形や地層の変形、地層や岩石など大地をつくるものを調べる学習活動の充実

➢小腸の柔毛、肺の肺胞、根毛があることによって、表面積がどう変化するかを分析して解釈する学習活動の充実

質問調査

【記号のみかた】全国結果の平均値と比較して肯定的な回答の割合が
△：上回っている　◇やや上回っている　◆やや下回っている　▼下回っている

札幌市が進める教育の方向性等に係る質問について肯定的な回答をした割合

質問項目	全国(%)	本校(%)	差(%)
【人間の尊重の教育に係る質問】			
◆自分には、よいところがあると思いますか。	86.2	83.3	-2.9
◆先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。	92.2	91.2	-1.0
◆困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。	73.2	72.8	-0.4
△学校に行くのは楽しいと思いますか。	86.1	90.4	4.3
◆普段の生活の中で、幸せな気分になることがありますか。	91.6	89.4	-2.2
【さっぽろっ子自治的な活動に係る質問】			
◇あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決を決めていると思いますか。	84.3	85.1	0.8
◆級活動における学級での話合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思いますか。	77.3	75.4	-1.9
【課題探究的な学習に係る質問】			
▼授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。	77.7	71.0	-6.7
△授業は、自分に合った教え方、教材、学習時間などになっていたと思いますか。	79.3	83.4	4.1
△授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思いますか。	91.9	96.5	4.6
◆学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていると思いますか。	73.4	71.9	-1.5
◇授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができますか。	74.8	77.2	2.4
▼授業では、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた。	63.0	51.7	-11.3
◆授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。	70.6	68.5	-2.1
△先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う。	83.8	86.8	3.0

R７年度

全国学力・学習状況調査　生徒質問紙（３学年対象）の結果

○例年の課題である自己肯定感につながる「人間尊重の教育に係る質問」の、「学校に行くのは楽しいと思っている」項目は、昨年度に引き続き平均８割を超え高い傾向にあります。
○「探究的な学習に係る質問」では、授業での課題解決に関する内容、発表の工夫の部分が全国平均と比べて下回る結果となりました。

令和８年度の取り組み

○自己肯定感に関する部分においては、困りごと、不安がある時に相談しやすい環境、子どもの頑張りを子どもも大人も認め合えるような環境づくりに努めていきたいと思います。
○学習に関しては、自分で考え、自分から取り組む課題解決学習ができるような授業作りと、自分の考えを発表する場面での指導に力を入れていきたいと考えています。

今後も、本校の学校教育に対し、ご理解とご協力をお願いいたします。